

青森地域の推奨色範囲と代表例

推奨色の代表例は、推奨色範囲から選んだ基調色・準基調色を景観タイプ別 (P.14~P.17参照) に内陸部と沿岸部に分けて示しています。

景観タイプ別推奨色範囲	配色	推奨色代表例					
		内陸部			沿岸部		
◆主に自然環境との調和をはかるケース ●基調色 色相 5YR~2.5G 明度5~7.5 彩度0.5~3 色相 10R~2.5G 明度2~5 彩度0.5~4 ●準基調色 色相 2.5YR~2.5G 明度5~8 彩度0.5~4 色相 10R~2.5Y 明度2~5 彩度0.5~4	基調色						
		準基調色					
◆自然が豊富な環境で、町並や人工物どうしの調和をはかるケース ●基調色 色相 2.5YR~7.5G 明度5~8 彩度0.5~3 色相 10R~7.5G 明度2~5 彩度0.5~5 ●準基調色 色相 10R~7.5PB 明度5~9 彩度4以下 色相 5R~7.5PB 明度2~5 彩度5以下	基調色						
		準基調色					
◆市街地で、町並や人工物どうしの調和をはかるケース ●基調色 色相 7.5PB~7.5RPを除く色相 明度5~8.5 彩度3以下 色相 10R~10YR 明度3~5 彩度5以下 ●準基調色 色相 7.5PB~7.5RPを除く色相 明度2~9 彩度5以下	基調色						
		準基調色					

津軽地域の推奨色範囲と代表例

景観タイプ別推奨色範囲	配色	推奨色代表例					
		内陸部			沿岸部		
<p>◆主に自然環境との調和をはかるケース</p> <p>●基調色 色相 2.5YR~5G 明度5~7.5 彩度1~3 色相 7.5R~10G 明度2~5 彩度0.5~4</p> <p>●準基調色 色相 2.5YR~10G 明度5~8 彩度1~4 色相 10R~10G 明度2~5 彩度0.5~4</p>	基調色						
	準基調色						
<p>◆自然が豊富な環境で、町並や人工物どうしの調和をはかるケース</p> <p>●基調色 色相 2.5YR~10Y 明度5~8 彩度0.5~4.5 色相 7.5R~10YR 明度2~5 彩度0.5~5</p> <p>●準基調色 色相 2.5YR~10Y 明度5~9 彩度0.5~6 色相 5R~5PB 明度2~5 彩度6以下</p>	基調色						
	準基調色						
<p>◆市街地で、町並や人工物どうしの調和をはかるケース</p> <p>●基調色 色相 5YR~10Y 明度5~8.5 彩度3以下 色相 2.5YR~10YR 明度2~5 彩度4以下</p> <p>●準基調色 色相 2.5YR~10Y 明度5~9 彩度4以下 色相 10R~5PB 明度2~5 彩度5以下</p>	基調色						
	準基調色						

南部地域の推奨色範囲と代表例

景観タイプ別推奨色範囲	配色	推奨色代表例					
		内陸部			沿岸部		
<p>◆主に自然環境との調和をはかるケース</p> <p>●基調色 色相 7.5YR~2.5G 明度5~7.5 彩度1~3 色相 5YR~2.5G 明度2~5 彩度0.5~4</p> <p>●準基調色 色相 5YR~2.5G 明度5~8.5 彩度0.5~4 色相 10R~2.5G 明度2~5 彩度0.5~4</p>	基調色						
	準基調色						
<p>◆自然が豊富な環境で、町並や人工物どうしの調和をはかるケース</p> <p>●基調色 色相 2.5YR~5Y 明度5~8 彩度0.5~3 色相 2.5YR~10YR 明度2~5 彩度0.5~4</p> <p>●準基調色 色相 2.5YR~6PB 明度5~9 彩度0.5~4 色相 5R~6PB 明度2~5 彩度6以下</p>	基調色						
	準基調色						
<p>◆市街地で、町並や人工物どうしの調和をはかるケース</p> <p>●基調色 色相 7.5PB~7.5RPを除く色相 明度5~8.5 彩度3以下 色相 7.5PB~7.5RPを除く色相 明度2~5 彩度4以下</p> <p>●準基調色 色相 7.5PB~7.5RPを除く色相 明度5~9 彩度4以下 明度2~5 彩度5以下</p>	基調色						
	準基調色						

下北地域の推奨色範囲と代表例

景観タイプ別推奨色範囲	配色	推奨色代表例					
		内陸部			沿岸部		
<p>◆ 主に自然環境との調和をはかるケース</p> <p>● 基調色 色相 7.5YR~10GY 明度5~7.5 彩度0.5~2 色相 2.5YR~5Y 明度2~5 彩度4以下</p> <p>● 準基調色 色相 2.5YR~10GY 明度5~8 彩度0.5~4 色相 10R~10Y 明度2~5 彩度4以下</p>	基調色						
	準基調色						
<p>◆ 自然が豊富な環境で、町並や人工物どうしとの調和をはかるケース</p> <p>● 基調色 色相 5YR~5Y 明度5~8.5 彩度0.5~3 色相 2.5YR~1Y 明度2~5 彩度0.5~4</p> <p>● 準基調色 色相 5YR~6PB 明度5~9 彩度4以下 色相 2.5YR~6PB 明度2~5 彩度5以下</p>	基調色						
	準基調色						
<p>◆ 市街地で、町並や人工物どうしとの調和をはかるケース</p> <p>● 基調色 色相 2.5YR~6PB 明度5~8.5 彩度3以下 色相 2.5YR~10Y 明度2~5 彩度4以下</p> <p>● 準基調色 色相 7.5PB~7.5RPを除く色相 明度5~9 彩度4以下 明度2~5 彩度5以下</p>	基調色						
	準基調色						

青森地域における色彩選定の考え方

■地域の特徴

陸奥湾を臨む青森市街を中心に、近郊に浅虫温泉、南部には四季折々の自然の変化とレジャーが楽しめる八甲田連峰が控えています。青森市市街は、ランドマークとなっているベイブリッジやアスパムをはじめ、商業ビルやオフィスビルが立ち並び大都市の景観を呈しています。郊外は住宅や商業施設の開発が進行しつつありますが、色彩的には沿道の看板や建築外装など、やや雑然としています。津軽半島や夏泊半島の沿岸帯には、漁村集落が点在し、街道沿いには伝統的な町並も残っています。田園農村景観は、津軽半島東部に見られ、広大な水田景観が広がっています。



カラーイメージは現況色の特徴をあらわしています。下線はエリアカラーが見られる事物やゾーンをさします。

■景域別データ

景域とカラーイメージ	主要な景観のタイプ	景観資源的なもの	守りたい景観とふさわしいイメージ (市町村別住民調査より)
津軽半島北部景域 ナチュラルダンディ	【海岸景観】 ・海に突出する岬や海岸 ・集落ごとに特徴を成す漁村集落の外装 ・漁港の景観 【山岳景観】 ・海岸部まで連なる山地	・風衝形のブナ林、津軽山地のヒバ林、松前街道の松並木 ・なぎさの船小屋、龍飛崎や高野崎、平館の灯台 ・切妻、板羽葺きの漁村家屋 ・冬季の雪囲い(板塙) ・義経ゆかりの史跡 ・龍泊ラインから望むパノラマ、七つ滝、権現崎、青岩、小説「津軽」像記念館、オートキャンプ場	・今別町… 婁月海岸、上股川上流の紅葉 ・平館村… 松前街道の松並木、さい沼、お台場、平館灯台 ・三厩村… 龍飛崎からの眺望と自然、龍飛ウインドパークの風車、やすらぎ公園 ・小泊村… 龍泊ライン、権現崎、セツ滝、大潤海岸 自然な、飾り気のない、素朴な
津軽半島東部景域 ナチュラル	【田園農村景観】 ・青森平野の水田と背景の森 ・水田と背景の津軽山地のスカイライン ・金属屋根の民家や茅葺き屋根の民家 【海岸景観】 ・平坦型の海岸 ・漁港 ・海岸に点在する船小屋 【市街地景観】 ・国道沿いの古い住宅街	・ヒバ林、広大な水田風景 ・海岸線に点在する船小屋 ・新しい公共施設やレジャー施設 ・国道沿いの赤や緑の金属屋根の民家、茅葺き屋根の家 ・松に代表される歴史を感じさせる民家の植栽	・蟹田町… 観瀾山公園海水浴場 ・蓬田村… 玉松台からの眺め、玉松海水浴場 田園的な、自然な、素朴な
青森景域 クールカジュアル(市街) ナチュラル(山間)	【産業施設景観】 ・港湾の各種施設景観 【市街地景観】 ・商業地域、オフィス地域 ・住宅地域、郊外市街地地域 市街地景観 【田園農村景観】 ・平地田園景観・宅地化や産業施設の建設が進む田園風景 【高原・台地景観】(国立公園) ・菅野高原 【山岳景観】(国立公園) ・八甲田山系の山並 ・山岳のリゾート施設	・八甲田の新緑・紅葉・樹氷・冠雪、旧青森市街、八甲田の温泉群とスキー場 ・アスパム ・ベイブリッジ ・八甲田丸 ・城ヶ倉大橋 ・駅前市場 ・三内丸山遺跡 ・小牧野遺跡	・青森市… 八甲田山、合浦公園、雲谷地区、陸奥湾 素朴な のどかな 伝統的な
夏泊半島景域 ナチュラル	【海岸景観】 ・背景の山地と一体になった海岸 ・海に突出した岬 ・漁村の景観 ・海岸に迫る山並 ・夏泊崎の松林 【田園農村景観】 ・海岸段丘と背景をなす山稜線 【市街地景観】 ・浅虫温泉	・ヤブツバキの自生北限 ・海岸部の松林 ・稲作 ・白鳥が訪れる浅所海岸の干潟 ・海岸に並ぶ長屋風船小屋や漁村の民家 ・浅虫温泉の宿泊施設	・平内町… 冬の浅所海岸、夜越山からの眺望、夜越山の桜並木、椿山周辺、大島海岸 自然な 素朴な 居心地のよい

■色彩選定の考え方

景観タイプ別の考え方と推奨色範囲の色を使った例です。

この地域は、さまざまな景観タイプが凝縮された地域ですので景観タイプ別の色使いにも注意してください。代表的エリアカラーは、青森市市街にみられるやや明るいベージュ、サインや街道沿いに観察される緑系の外装、津軽半島の漁村に見られるおちついたグレイッシュな木質外壁の色などです。

写真はイメージの参考です。

1.主に自然環境との調和をはかるケース

・八甲田山系、津軽山地、夏泊半島部、および海岸線一帯。

・山間部では、年間を通して、豊かな植生の色の变化が見られます。彩度の低いブラウン系を基調に、森の美しさを保つ色彩を優先させます。自然となじむ素材感も重要です。

(基調) (準基調)



2.5YR 3/1 10YR 7/1.5



7.5YR 5/3 10YR 6.5/2

・沿岸部は、山が海岸まで迫った変化に富んだ雄大な景観が特徴的です。砂や岩肌の色との調和に注意し、自然環境になじむ色を使います。



5YR 4/0.5 10YR 6/1.5



2.5G 4.5/2 10GY 6/2



2.自然が豊富な環境で、町並や人工物どうしとの調和をはかるケース

・青森市郊外、国道4号、7号、280号など幹線道路沿い、市街近くの沿岸部。

・内陸部では、田園地帯に新しい施設や住宅が開発されつつある地域です。自然的要素と市街地的要素が混在するため、色のコントロールが特に重要な地域といえます。



7.5YR 6/3 5G 4.5/2



10YR 6/0.5 5YR 3/1

・ロードサイドでは、周囲から突出する色を抑え、ベージュや明るいブラウン系を基調にするとよいでしょう。



5YR 5/2 2.5YR 7.5/0.5



1Y 7.5/1.5 7.5YR 5.5/3

・沿岸部では沿岸に点在する諸施設と砂や岩肌とのバランスに注意します。



3.市街地で、町並や人工物どうしとの調和をはかるケース

・青森市街ほか町村の中心部。港湾施設の中心部。

・青森市市街では明るいトーンの外装が基調で、グリーン系やブルー系がアクセントとして使われ、地域性を形成しています。港湾部付近では、オフホワイトや明るいベージュ系も使いやすい色です。



5YR 7.5/1 7.5YR 6/2.5



N 8 N 6

・こうした地域の基調色を中心とした、あたたかみのあるライトベージュやアイボリー、明るいブラウン系などをお勧めします。



2.5Y 7.5/1.5 7.5YR 7/3.5



10YR 6.5/2 10R 5/3



津軽地域における色彩選定の考え方

■地域の特徴

岩木山を頂く風景や夕日美しい海岸線など、日本人の原風景ともいえる景観が広がり、南には白神山地も控えています。弘前市、黒石市を中心に、古くからの町並や建築が保存されており、エリアカラーの重要性が特に高い地域です。無塗装の木を橋りょうやデッキ、雪囲い等に用いる伝統があり、木の素材色もエリアカラーといっぴいでしょう。十三湖に注ぐ岩木川を軸に津軽平野では水平基調の田園農村景観が見られ、伝統的な意匠の民家も多数残っています。岩木山を背景とする水田風景や岩木山山麓のリンゴ畑は地元住民の愛着が非常に強い景観となっています。津軽西海岸景域では、千畳敷で有名な変化に富んだ海岸線と、自然性の高い白神山地の景観が広がり、その自然性の高い景観を損なわない色使いが求められます。



カラーイメージは現況色の特徴をあらわしています。下線はエリアカラーが見られる事物やゾーンをさします。

■景域別データ

景域とカラーイメージ	主要な景観のタイプ	景観資源的なもの	守りたい景観とふさわしいイメージ (市町村別住民調査より)
津軽平野北部景域 カジュアルナチュラル	【田園農村景観】 ・津軽平野の水田 ・伝統的な茅葺き屋根の農村民家 【河川湖沼景観】 ・岩木川からの低地流域の眺め ・津軽山地を背景とする十三湖の景観 ・点在する低地の沼、池、湿原の景観 【海岸景観】 ・七里長浜に沿った防風林や砂丘の景観	・ヒバ ・湿原のニッコウキスゲや菖蒲、ミズバショウ ・砂丘に群生するハマナス、防風林のクロ松 ・低地の稲作、メロン、スイカ栽培 ・津軽大橋 ・小田川ダム ・太宰治記念館(斜陽館) ・十三湖大橋 ・各町村の茅葺き屋根の家屋 ・防風林に囲まれた伝統的意匠の民家 ・ストープ列車で有名な津軽鉄道	・木造町…ベンセ湿原、ニッコウキスゲ、埋没林、松の防風林、岩木山 ・森田村…つがる地球村、つがる地球村からの岩木山の眺望、舞舞藤山の松林、小戸六溜池 ・稲垣村…広大な田園風景、岩木山、稲穂いこいの里、茅葺き屋根の民家 ・車力村…漁港からの夕日、高山稲荷からの海岸線、屏風山、湖沼風景、呑龍岳 ・金木町…芦野公園、太宰治記念館(斜陽館) ・中里町…十三湖、不動の滝、袴腰山、大沢内溜池、賽の河原からみた津軽平野 ・市浦村…唐川城跡からの眺望、十三湖、十三湖の夕日、トーサムグリーンパーク、もや山、もや山からの眺望、道の駅十三湖高原、磯松海岸
			田園的な、のどかな、素朴な
津軽平野南部景域 クラシックダンディ (市街) ナチュラル (郊外・山間)	【田園農村景観】 ・岩木山をランドマークとする水平基調の水田や畑 ・田園地帯に点在する民家と背景の山地 【河川湖沼景観】 ・岩木川をはじめとする河川景観 【山麓景観】 ・岩木山と裾野に広がる高原、台地縁辺のリンゴ畑 【山岳景観】 ・白神山地の山並、橋りょうやダム、各種リゾート施設 ・起伏に富んだ十和田山系や八甲田山系 【市街地景観】 ・弘前市や黒石市をはじめとする歴史的町並地域 ・商業地域・オフィス地域 ・住宅地域・郊外市街地地域	・白神山地のブナ林 ・リンゴ畑 ・水田 ・弘前城、青森銀行記念館、石場家住宅など、禪林街、仲町伝統的建造物保存地区、城西大橋 ・こみせ、高橋家住宅 ・伝統的意匠の農村民家 ・旧平山家住宅 ・盛美館	・弘前市…岩木山、弘前公園(桜と松)、弘前城、古い洋風建築、禪林街、五重塔、武家屋敷の伝統建築 ・黒石市…観光りんご園、中野山のみみじ、こみせ、京町の寺院街 ・五所川原市…エルムの街、エルム大橋、岩木山 ・柏村…田園風景、岩木山を背景にした風景、リンゴ園、岩木川からの眺望 ・岩木町…岩木山、桜並木、藩政時代の松並木 ・相馬村…ロマンチックピアからの眺望、屏風岩 ・西目屋村…白神山地、暗門の滝、見返り坂、美山湖 ・藤崎町…白鳥飛来地、唐糸御前、リンゴ園 ・大鰐町…茶臼山公園、石の塔、天然スギ・ヒバ混交保護林 ・尾上町…生け垣、盛美園、猿賀公園 ・浪岡町…梵珠山、花岡公園、十和田温泉 ・平賀町…白岩、志賀坊森林公園 ・常盤村…平野と岩木山 ・田舎館村…田園風景 ・碓ヶ関町…三笠山とからの眺望、岩淵公園 ・板柳町…リンゴ園、岩木山 ・鶴田町…富士見湖パーク 鶴の舞橋、岩木山、リンゴ園、岩木川河川敷
			伝統的な、田園的な、自然な、
津軽西海岸景域 ナチュラル (海岸) クールナチュラル (山間)	【山岳景観】 ・白神山地の山並・十二湖 【海岸景観】 ・変化に富んだ海岸線と山の稜線を背景にした直線的な海岸線 【産業施設景観】 ・漁港や関連施設 【田園農村景観】 【山麓景観】 ・段丘上の農地と山地を背景にした農村集落	・白神山地のブナ原生林 ・白神山地のリゾート施設 ・北限のタブの木 ・北限の自生ヤブツバキ ・西向き妻入り構造の民家がたち並ぶ漁村集落	・鏝ヶ沢町…白神山地、くろくまの滝、赤石溪流、夕日、天童山からの風景 ・深浦町…砂浜、白神山地、千畳敷海岸、夕陽、八森山からの眺望、行合崎、岡崎海岸、風合瀬海岸 ・岩崎村…夕日、白神岳、十二湖、沢辺ゆとりの駐車帯からの眺望、ガンガラ穴、大間越海岸
			自然な、すがすがしい、ロマンチックな

■色彩選定の考え方

景観タイプ別の考え方と推奨色範囲の色を使った例です。

この地域では、弘前や黒石に見られる古くからの町並や寺社・城郭の色彩、岩木山を頂く広大な水田風景の中に点在する農村集落の色彩がエリアカラーを形成しています。雪景色の中でのアクセントとなるオレンジ系の交通機関の色も特徴的です。

写真はイメージの参考です。

1.主に自然環境との調和をはかるケース

・白神山地、岩木山を中心とする山麓一帯。八甲田山系一帯。

・白神山地や岩木山の豊かな自然環境の保全が重要な地域です。彩度の低いブラウン系を基調に、森や山肌の美しさを保つ低彩度色が適しています。



・沿岸部は砂丘や防風林が連なる景観、山が海岸まで迫った岬や岩礁などが特徴的です。植生や岩肌の色との調和に注意し自然環境になじむ色を選ぶ必要があります。



2.自然が豊富な環境で、町並や人工物どうしの調和をはかるケース

・津軽平野一帯の道路沿い。特に水田地帯の農村部や岩木川を望む橋りょう上。海岸の集落一帯。

・水平基調の広大な水田景観の中に点在する建造物は、遠方からも視認され、景観に対する影響も大きいので、周囲から突出しないよう注意が必要です。



・冬季の積雪も深く、無塗装の木の雪囲いや赤茶系の暖かみのある色使いが伝統的に多い地域です。ページユアブラウン、アイボリー系も、いくぶん彩度を上げた色使いが落ち着きを感じさせます。



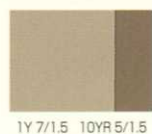
3.市街地で、町並や人工物どうしの調和をはかるケース

・市街中心部、および港湾施設の中心部。

・地区のちがいにありますが、伝統的な町並や建築が多いこの地域では、全体としておちついた色調を重視していく必要があります。



・色みの強さよりも、素材感や重厚感を大切に、周囲の景観とマッチする色調に整える必要があります。



南部地域における色彩選定の考え方

■地域の特徴

上北南部景域の西側には、国立公園指定区域である自然性の豊かな湖沼、渓谷などを有する十和田・八甲田山系の奥深い山々が連なります。八戸景域の東側には、ゆるやかに起伏した台地・丘陵が広がり、モザイク状の田園は豊かな農村の色彩を作り出しています。貫流する河川沿いには広がりのある谷底平野と市街地の景観が続きます。海岸線には自然性の高い磯浜と臨海産業都市として発達した八戸の港湾の景観が形成されています。他の地域に比べ冬の降雪量が少なく、平野部は根雪になりにくい地域です。集落の屋根に見られるエリアカラーの色使いは内陸の農村部は赤茶系が多く、沿岸部はブルー系が多くなり、港湾部を中心に明るい清色的な色使いが見られます。八戸市、十和田市、三沢市市街はもちろん、その周辺部の郊外には住宅地や商業施設等が進出しつつあり、景観形成に配慮した色彩が求められます。



カラーイメージは現況色の特徴をあらわしています。下線はエリアカラーが見られる事物やゾーンをさします。

■景域別データ

景域とカラーイメージ	主要な景観のタイプ	景観資源的なもの	守りたい景観とふさわしいイメージ (市町村別住民調査より)
上北北部景域 ソフトナチュラル	【海岸景観】 ・陸奥湾岸に円弧状に連なる海岸 ・防風林を背景に広がる太平洋岸の砂丘景観 【高原・台地景観】 ・おだやかに起伏する台地上の牧野の景観 ・低い山並を背景に広がる沿岸部台地上の田園 【産業施設景観】 ・潟湖周辺の台地上に展開されている工業施設群 ・むつ小川原港 【河川湖沼景観】 ・太平洋岸に点在するおだやかな潟湖の景観	・のへじ海浜公園、愛宕公園、サントリー野辺地蔵置場、最古の灯台「常夜燈」、烏帽子岳 ・横浜町…菜の花畑、砂浜海岸、自然体験ランド「自然苑」 ・小川原湖、マテ小屋、日本中央の碑 ・物見崎、尾駮沼、鷹架沼	・野辺地町…愛宕公園の桜、スキー場からの眺望、十符ヶ浦海水浴場、常夜燈、柴崎牧場、烏帽子岳 ・横浜町…菜の花畑、吹越烏帽子岳、むつ湾、砂浜海岸線 ・東北町…小川原湖、清水目川 ・六ヶ所村…小川原湖、マテ小屋、たたみ岩
			自然な、のどかな、素朴な
上北南部景域 シックダンディ (市街) クラシックナチュラル (郊外・山間)	【河川湖沼景観】 ・十和田湖の景観 ・小川原湖の景観 【海岸景観】 ・防風林を背景に広がる太平洋岸の砂丘景観 【田園農村景観】 【山麓景観】 ・八甲田山系の裾野の低地に広がる水田 【市街地景観】 ・整備された十和田市の官庁街 ・歴史ある城下町の景観 【山岳景観】 ・十和田湖周辺や奥入瀬の溪流 ・高山を開拓した牧場の景観 【高原・台地景観】 ・防風林に囲まれた牧野	・官庁街通り(日本の道百選・日本百景)、奥入瀬川、花菖蒲の里、十和田の四名水、奥州街道に残る一里塚や松並木等の史跡、小田の埋没林、新渡戸記念館 ・小川原湖、斗南藩記念観光村 ・柏葉公園(七戸城跡)、東八甲田家族旅行村、町営スキー場、南部曲がり家、天王神社つつじ、奥州街道松並木 ・長寿日本一根岸の大いちょう、日本一の自由の女神像、いちよう公園 ・十和田湖、奥入瀬溪流、十和田神社、十和田湖温泉スキー場、国道102号花街道、八甲田ビューカントリークラブ ・鯉野公園、熊野神社、十和田観光電鉄、古牧温泉洗心公園、十和田国際カントリークラブ ・小川原湖ふれあい村、湖畔千本校 ・下田公園と飛来する白鳥、カワヨグリーン牧場 ・天間ダム、天間林村中央公園、諏訪牧場	・十和田市…八甲田、官庁街通り ・三沢市…小川原湖、クリスマスイルミネーション、太平洋岸からのぞむ朝日 ・七戸町…天王神社のつつじ、八幡岳、高瀬川、奥羽牧場の桜並木、柏葉公園 ・百石町…根岸の大いちょう、自由の女神像、水平線からのぼる朝日 ・十和田湖町…十和田湖、奥入瀬溪流、奥入瀬ろまんパーク、八甲田連峰、奥入瀬川 ・六戸町…鯉野公園の桜、イルミネーション、八甲田連峰、奥入瀬川 ・上北町…小川原湖の白鳥・朝日、湖畔施設、花切川の桜、花切川からの八甲田 ・下田町…間木堤の白鳥や桜、奥入瀬川からの八甲田連峰、下田公園、カワヨグリーン牧場 ・天間林村…天間ダム、坪川、小坪川、森林公園
			田園的な、みずみずしい、開放的な
八戸景域 クールカジュアル (市街・港湾) クラシックナチュラル (郊外・山間)	【高原・台地景観】 ・台地、丘陵上の牧野、田園 【田園農村景観】 【山麓景観】 ・一帯からのランドマークとなる名久井岳 ・谷底平野の水田 ・農村集落 【市街地景観】 ・発達した市街地景観 【産業施設景観】 ・八戸港湾部に発達した産業施設 【海岸景観】 ・種差海岸 【山岳景観】 ・山間の集落	・種差海岸、無島、大須賀海岸(日本の渚百選)、シーガルブリッジ、葦毛崎展望台、清水寺観音堂 ・江渡家住宅(重文) ・タブコブ創造村、みろくの滝 ・法光寺承慶塔(三重の塔) ・南部利康堂、アイリス園、ぼたん園 ・寺下観音 ・福一海虚空蔵菩薩堂 ・カッキーの森エコーランド ・旧園子家武家居宅 ・キリストの里伝承館	・八戸市…種差海岸、無島、マリエントからの眺望、葦毛崎、市庁舎 ・三戸町…城山公園、名久井岳、熊原川 ・五戸町…ひばり野公園、高山峠からの展望、奥州街道 ・田子町…みろくの滝、タブコブ創造村、大黒森のつつじ ・名川町…名久井岳、馬淵川、法光寺承慶塔(三重の塔) ・南部町…名久井岳、長谷ぼたん園 ・陸上町…陸上岳、陸上海岸 ・郷地村…馬淵川と吊橋(苔米地橋)、ふれあい公園、田園風景 ・南郷村…虚空蔵山、高山神社、カッキーの森エコーランド、鷹の奥展望台からの眺望 ・倉石村…小渡平公園の桜、倉石大橋 ・新郷村…大石神ビラミッド、キリストの墓、水芭蕉の群生、戸来岳
			自然な、田園的な、のどかな

■色彩選定の考え方

景観タイプ別の考え方と推奨色範囲の色を使った例です。

この地域は十和田湖一帯が観光資源になっており、その保全に注意が必要です。市街地も十和田市の官庁街通りに見られるような整備された景観があります。農村部には赤茶系の屋根が多くみられます。

写真はイメージの参考です。

1.主に自然環境との調和をはかるケース

・十和田湖周辺や奥入瀬渓流、牧場。小川原湖や沿岸に点在する潟湖。太平洋岸の台地、砂丘や一帯の海岸線。

・山岳部では、ブラウン系が中心に使われエリア性を形成していますので、基調色としてお勧めします。

・この地域は、木質を生かした施設や建造物が多いのも特徴です。それらとの調和やバランスを重視し、自然な風合感を損なわない色を選びます。

(基調) (準基調)



7.5YR 5/4 Y系N2



10YR 6.5/1.5 7.5YR 3/1.5



5YR 2.5/0.5 Y系NR2



2.5G 2.5/2.5 2.5G 4.5/2



2.自然が豊富な環境で、町並や人工物どうしの調和をはかるケース

・一帯の道路沿い。特に台地上の水田地帯の農村部。海岸の漁村集落一帯。

・内陸部の民家の屋根は赤茶系が多く、大きな施設ではブラウン系が多く見られます。これらと調和しやすいブラウン系からアイボリー系の色をお勧めします。

・沿岸部では、民家の屋根は青系が多く内陸部と対照的です。そのまま使うとあざやかすぎるため彩度を下げ、準基調色などに用いるとよいでしょう。



2.5Y 7.5/1 5YR 3/0.5



10YR 6.5/2 2.5G 2.5/2.5



1Y 6.5/1 6R 2.5/4



2.5Y 6/1 2.5PB 4/1.5



3.市街地で、町並や人工物どうしの調和をはかるケース

・市町村の中心部。および港湾施設の中心部。

・市街では比較的明るいトーンの外装が多く、他の都市部に比べ明るいグレー系も多く見られます。特に沿岸の都市部はアクセントを含め、清色的な色使いが特徴です。

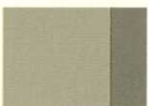
・港湾部では、工業施設、産業施設が発達していますが、明るめの色を基調に圧迫感を避ける色使いが必要です。



10YR 8.5/2 5PB 4.5/4.5



2.5PB 7/0.5 10G 6/2



2.5Y 7/0.5 Y系N5.5



7.5YR 5.5/1.5 1Y 7/1.5



下北地域における色彩選定の考え方

■地域の特徴

マサカリのかたちで例えられる下北半島は、大部分が国定公園に指定されており、下北半島西部景域を中心に樹林におおわれた山々が連なり、山岳景観が形成されています。津軽海峡、陸奥湾、太平洋に面する海岸線は荒々しい断崖や岩礁が見られ、変化に富んだ長大な海岸を形成しています。奇岩で有名な仏ヶ浦や恐山霊場が観光スポットになっています。景域東側には太平洋に突出した岬の景観、ゆるやかに連なる丘陵上に大陸的な牧野が点在します。

むつ市内の釜臥山からは、大湊湾に沿って広がる市内の眺望が見渡せます。市街地郊外においても住宅や各種の建造物の開発がいちじるしく、色彩のコントロールが必要な地域が多いといえます。佐井村に切妻板羽葺き、黒色の屋根をもつ漁村家屋集落が残され、独特の景観を形成しています。



■景域別データ

カラーイメージは現況色の特徴をあらわしています。下線はエリアカラーが見られる事物やゾーンをさします。

景域とカラーイメージ	主要な景観のタイプ	景観資源的なもの	守りたい景観とふさわしいイメージ (市町村別住民調査より)
下北半島西部景域 シックダンディ	【山岳景観】 ・ヒバ、ブナをはじめとする豊かな自然林でおおわれた自然性の高い景観 【海岸景観】 ・後背する段丘崖と一体となった海岸 ・海に突出する岬 ・段丘崖を背にした漁村集落 ・木質外壁の漁村の民家 ・巨岩が突出した特徴ある海岸 ・風雨と波によって浸食された雄大な断崖海岸	・ヒバ林 ・道の駅「かわうち湖」、川内ダム、渓流と大滝、湯の川温泉 ・日本三大霊場の一つ恐山と恐山周辺のミズバショウ、シャクナゲ ・本州最北端の碑、津鼻崎公園、赤石海岸、シーサイド・キャンドルパーク大間 ・下風呂温泉、易国間川、草島 ・葉研温泉、奥葉研修景公園 ・仏ヶ浦、がんかけ岩、ケビンハウス、フォーレストパーク、切妻板羽葺き 黒色の屋根をもつ漁村集落 ・貝崎園地、七引園地、愛宕山公園、鯛島	・川内町…川内川の渓流と大滝・遊歩道、川内ダム付近の紅葉、大銀杏の木 ・大畑町…葉研渓流、ヒバ ・大間町…海岸からの夕日・漁火、本州最北端大間崎、奥戸川の渓流と紅葉 ・風間浦村…易国間川、折戸海岸、下風呂温泉、二見岩、漁火 ・佐井村…仏ヶ浦、がんかけ岩、夕日、海岸線、縫道石山、岸壁の壁画 ・脇野沢村…愛宕山、牛の首公園、鯛島、北海岬、龍神広場、野猿公苑
			自然な、素朴な、閑静な
下北半島東部景域 シックナチュラル (山間) ナチュラルカジュアル (市街)	【田園農村景観】 ・むつ低地の水田や北部の台地上に点在する畑地、牧野 【山麓景観】 ・ランドマークの釜臥山周辺 【高原・台地景観】 ・むつ湾岸の台地の田園 ・景域東側の丘陵地帯に点在する丘陵の牧野 【海岸景観】 ・太平洋に突出した牧野の尻屋崎 【市街地景観】 ・むつ市市街地	・北洋館、水源池公園 ・釜臥山、釜臥山からの眺望 ・来さまい橋通り(都市景観大賞) ・尻屋崎灯台と寒立馬、猿ヶ森のヒバの埋没林	・むつ市…釜臥山からの眺望、芦崎、水源池公園、恐山、来さまい橋通り ・東通村…尻屋崎灯台、寒立馬、白糖灯台、尻屋崎の景観、ヒバの埋没林、猿ヶ森砂丘
			自然な、いごちのよい、やすらかな

■色彩選定の考え方

景観タイプ別の考え方と推奨色範囲の色を使った例です。

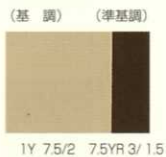
この地域は一部が国定公園に指定されており、ヒバ林も全国的に有名です。海岸部の岩礁も変化に富み、雄大な景観を保全する必要があります。また、伝統的漁村に見られるエリアカラーも大切にしたい色です。

写真はイメージの参考です。

1.主に自然環境との調和をはかるケース

・山岳部、および海岸線や牧野。

・山並みが海岸まで迫っている所が多く、沿岸部でも植生や岩肌の色が背景になります。基調色の選定には、背景との対比に注意し、環境になじむ色調を重視します。



・岩礁や岩肌の色は比較的多様ですが、地域の特徴を成す景観も多く、明度や彩度が浮き立たないように、注意して下さい。



2.自然が豊富な環境で、町並や人工物どうしの調和をはかるケース

・海岸線一帯の道路沿いの集落。市街地周辺の水田地帯。

・沿岸の漁村部では、伝統的な集落の色彩が保全されている地域もあり、色彩のまとまりに注意してください。



・水田や牧野の景観はロードサイドから視認されやすいため、周囲から突出する色を抑え、アイボリーやベージュ系などナチュラルな色を基調にすることをお勧めします。



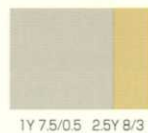
3.市街地で、町並や人工物どうしの調和をはかるケース

・市町村の中心部。港湾施設の中心部。

・むつ市周辺に新しい施設や住宅が開発されつつあります。民家の屋根に見られる赤茶系や青系の色を使用するときは、そのままではあざやかすぎるため、彩度を下げてバランスをとるようにします。



・港湾部では、内陸部よりもいくぶん明るめの色が使いやすいでしょう。



現況色調査のまとめ

青森県内全域にほぼ共通して見られる傾向

①赤茶系、青系の屋根色

集落や住宅に見られる金属製の折板屋根の色は、赤茶系、青系が中心で、どこの地域でも見られます。(一部にグリーン系)これらの色は、内陸農村部では赤茶系が多く、海岸部では青系が多いという傾向があります。集落によっては、はでさを競っているようなところもあり、学校や倉庫など比較的規模の大きい建造物にも使用されています。こうした色は、カラフルではありますが、景観としてのおちつきやまとまりに欠ける傾向があります。ある程度、彩度を抑えたトーンを使用していく必要があるといえるでしょう。

民家の屋根色

赤茶系



色相2.5R~7.5R、彩度は8前後の高いものも見られます。

青系



色相7.5B~5PB、彩度は10前後の高いものも見られます。

緑系



色相10GY~10G、彩度は赤茶系や青系と比較すると、おちついています。

②濁色系の内陸部の土の色

色相1Yを中心とする褐色系からやや黄みを帯びた土が中心で赤土や色みの強い黄土色はほとんど見られません。山あいや農村部における建造物の壁の色などは、この土の色との調和が必要です。

土の色



色相10YR~5Yの彩度1以下のグレイッシュなトーンが中心です。

③「木の文化」を感じさせる木質の色

木質の建材が橋りょう、デッキ、外構(柵や塀)、雪囲いなどの各種施設などにひんぱんに使用されています。津軽地方を中心に無塗装の木の素材色を生かす伝統が生活の中に根づいています。

木の色は年月とともに明度、彩度ともおちつき、人工材にはない、あたたかみのある風合を感じさせます。森林が豊かな青森県らしい素材がもたらす色彩といえ、大切にしたい色です。

木質の色



木質仕上の色も多様ですが、色相5YR~5Y程度の色相が中心で、無塗装の素材色が頻繁に使われています。

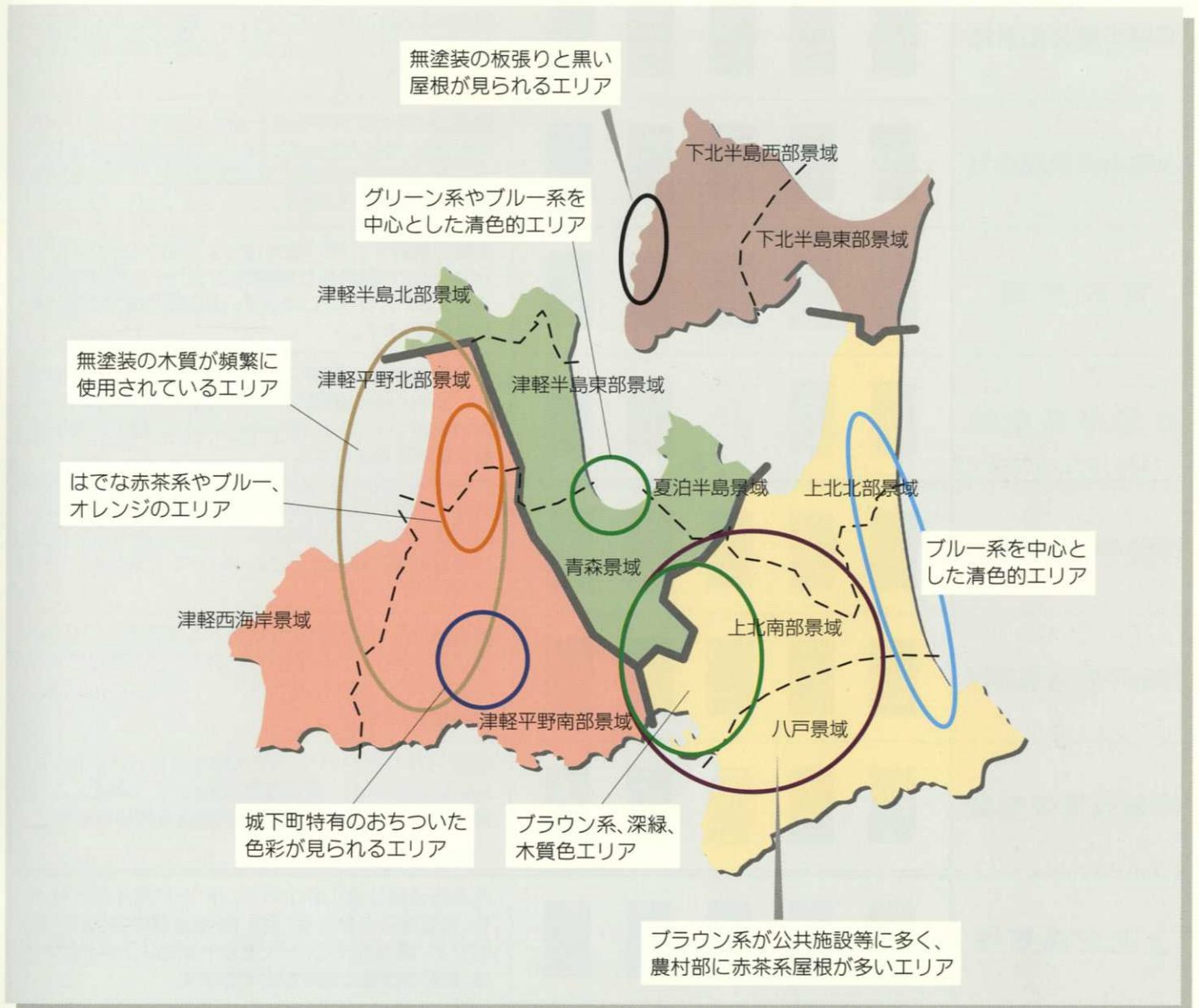
④市町村の推奨色範囲や景観づくりなどに見られる色彩

地域によっては、市町村の推奨色がエリアの特徴を形成していたり、町並の保全対策がエリアらしい色使いとなって表れている所もあります。

⑤郊外の幹線道路沿いは、商業施設を中心に色のコントロールが特に必要

市街中心部から郊外へ抜ける幹線道路沿いは、田畑を開発し、新たに商業施設や産業施設、住宅などが建てられています。こうした地域では周囲に建造物が少ないため、一棟の外装色が景観を左右します。郊外の商業施設などはそのスケールも大きいものが多く外装色やサインなどにおいて、周囲になじまない色や彩度が強すぎる色などが見られます。日本全国に見られる現象ですが、景観形成における色彩の重要性が特に高い地域といえます。

青森県の代表的エリアカラー



エリアカラーの見方

エリアカラーといっても、ここに示したような色が地域全面をおおい尽くしているわけではもちろんありません。また、県全体として見ると、エリアカラーの明快な地域と、色使いに明快な特徴のない平均的な地域があります。建造物に使われる色には、基本色※という色の種類と範囲があり、外壁には外壁、屋根には屋根に使いやすい色の領域があります。エリアカラーの明快な地域とは、基本色における特定の色範囲のウエイトが高く、平均的な地域とは基本色の使い方にあまりかたよりが無い地域といえるでしょう。エリアカラーには、明快な境界線があるわけではなく、グラデーション的な変化となって表れます。

※基本色…生活の中で慣用的に使われているベーシックな色のこと。







外 壁…ベージュ系、アイボリー系、明るい茶系など。都市部ではグレー系も慣用的に使われます。

屋 根…一般的には外壁より明度の低い色が広く使われています。全国的にみると黒に近いグレー系が代表で、おちついた茶系、緑系も慣用色です。青森県の民家では赤茶系や青系、緑系の屋根が慣用色となっています。

舗 装 材…グレー系やベージュ系、彩度の低い茶系などが代表的です。

道路附属物…防護さくや、照明施設、配電塔などは彩度の低い茶系やグレー系、緑系も慣用的に使われます。

現況色調査結果から推奨色範囲設定の経過

景 域	代表的現況色	現況色の特徴
津軽半島北部景域		海岸線に発達した漁村集落の民家や船小屋の外装に見られる木質の色がエリアカラーを形成しています。海岸沿いに山地が迫った雄大な自然環境に溶け込んだ伝統的色彩です。
津軽半島東部景域		国道沿いに伝統的な町並と、新しい施設がスポット的に点在し、対比をなしています。地域色は強くありませんが、植栽の松や海水浴場施設などの木質色が地域によくなじんでいます。
青森景域		多様な景観タイプが見られます。市街中心部では、明るいトーンの基調色が特徴的で、グリーン系やブルー系がエリアカラーといえます。山岳部ではブラウン系が多くなります。
夏泊半島景域		半島の海岸線に発達した漁村集落や、おちついたベージュ系の浅虫温泉の市街が国道沿いに見られます。漁村集落では、赤系、青系のカラフルな屋根の長屋風船小屋が散見されます。
津軽平野北部景域		外装に使用されている無塗装の木質色や、広大な水田地帯に点在する比較的是でな青系、赤茶系の屋根や津軽鉄道の車両にみられるオレンジ系などがエリアカラーです。
津軽平野南部景域		歴史的町並に見られる黒褐色と漆喰の色の対比や、赤茶系とグリーン系を使った配色などがエリアカラーとなっています。山間のリゾートではグリーン系の屋根も見られます。
津軽西海岸景域		国道101号線沿いとJR五能線から見られる海岸線沿いの岩礁や古い漁村集落、観光ホテルなどにこの地域らしいおちついた色調の外装色が見られます。
上北北部景域		色の地域性は強くありませんが、太平洋岸部の砂丘や、瀧湖周辺の自然性の高い針葉樹林の景観が特徴的です。陸奥湾側のJR大湊線や国道279号線からは、牧野や田園の色彩がのぞめます。
上北南部景域		山間部の施設や市街地の公共施設を中心にブラウン系が使用され、エリアカラーとなっています。農村集落には赤茶系の屋根、海岸線はブルー系の屋根が多くなります。
八戸景域		山あいや谷底平野上に点在する民家や古い木造建築におちついた外壁と赤茶系屋根のエリアカラーが見られます。海岸線はブルー系の屋根が多くなり、市街地は清色的な色使いです。
下北半島西部景域		国道338号線沿いから見られる漁村集落の黒い屋根色と、グレイッシュな板張りの組み合わせがエリアカラーとなり、地域の特徴を成しています。巨石や奇岩、岩礁の色も印象的です。
下北半島東部景域		むつ市市街では、赤茶系の屋根が目立ちますが、北洋館や水源池公園など石づくりの建築において、おちついた色彩も見られます。来さまい橋通りの木質のモニュメントがシンボル化されています。

12景域のエリアカラーの近似性と、ガイドプランとしての使いやすさを配慮し、4地域に統合し、推奨色範囲を設定しています。

代表的現況色のはでな赤茶系や青系は、主に民家の金属屋根(カラートタン)の色で、大規模行為や公共事業の基調色、準基調色には直接反映させにくいと判断されます。

※トーンは明度と彩度の範囲を示していますので、同一色相の同じ記号でも微妙な色のちがいがああります。色相とトーンの記号の見方はP.4,5参照

推奨色範囲設定の方針

推奨色範囲においてキとした色※

青森地域

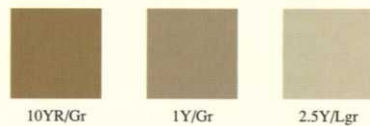
主に自然環境との調和をはかるケース

- 四季を通じての植生や土の色、海岸線の色と調和する色彩を重視します。
- 山あいのエリアカラーとして見られるブラウン系やおちついたグリーン系を推奨します。



自然が豊富な環境で、町並や人工物どうしとの調和をはかるケース

- 地域の植生や水田風景、土の色、町並のベージュ系やアイボリー系と調和する色彩を推奨します。
- エリアカラーとして見られるブラウン系やおちついたベージュ系も重要です。



市街地で、町並や人工物どうしとの調和をはかるケース

- 市街の基調色を成す明るいトーンを重視します。
- エリアカラーとして見られるグリーン系やブルー系の比率を高めに設定します。



津軽地域

主に自然環境との調和をはかるケース

- 四季を通じての植生や土の色、海岸線の色と調和する色彩を重視します。
- 山あいの諸施設に見られるブラウン系やグリーン系のおちついたトーンを推奨します。



自然が豊富な環境で、町並や人工物どうしとの調和をはかるケース

- 津軽平野特有の広大な水田風景となじみやすい色を重視します。
- エリアカラーとして見られる赤茶系やオレンジ系の色と調和する色彩を重視します。



市街地で、町並や人工物どうしとの調和をはかるケース

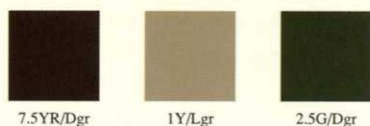
- 市街の古い町並に保全されているおちついたトーンを重視します。
- エリアカラーとして見られる赤茶系やグリーン系に合う色を重視します。



南部地域

主に自然環境との調和をはかるケース

- 山間部のエリアカラーとして見られるブラウン系やおちついたグリーン系を推奨します。
- 海岸線は内陸にくらべ、明るめのトーンがマッチします。



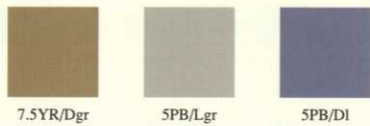
自然が豊富な環境で、町並や人工物どうしとの調和をはかるケース

- 地域の植生や水田風景、土の色、町並のベージュ系やアイボリー系と調和する色彩を重視します。
- エリアカラーとして見られるおちついたブラウン系を推奨します。



市街地で、町並や人工物どうしとの調和をはかるケース

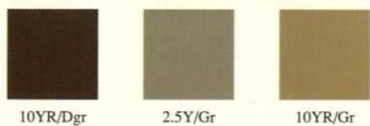
- 市街の基調色を成す明るいトーンを重視します。
- 沿岸部の市街地ではエリアカラーの清色系(ブルー系など)の比率を高めます。



下北地域

主に自然環境との調和をはかるケース

- 四季を通じての植生や土の色、海岸線の色と調和する色彩を重視します。
- 山あいの諸施設に見られる木質系のブラウン系のおちついたトーンを推奨します。



自然が豊富な環境で、町並や人工物どうしとの調和をはかるケース

- 海岸沿いに見られる風合に富んだ木質外壁や黒色の屋根色などのエリアカラーの比率を高めます。
- 地域の植生や水田風景、土の色と調和する色彩を重視します。



市街地で、町並や人工物どうしとの調和をはかるケース

- 町並の基調色として使いやすい基本色を重視します。
- 沿岸部はやや明るめに設定します。



いろいろな景観配色のテクニック

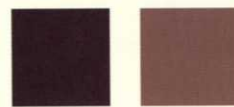
1. エリアカラーを使う

風土に培われてきた色は、長い時間の積み重ねの中で環境から学び、自然の色や素材を取り入れ、使いこなしてきたものが多いといえます。したがって、その地域の風土色や素材を媒介にして景観となじませることで統一感が生まれ、愛着のある景観をつくることができるようになります。



G/DI

R/Dp



YR/DI

R/Dgr

2. トーン配色をする

建造物等に使う色はできるだけ色相をしぼり、色の明暗(明度差)をつけてトーンを微妙に変化させる配色にします。同一色相のトーン変化で配色すると色の統一感が生まれ、配色に奥行きが出て、洗練されてきます。



YR/DI

R/Dk

YR/L



R/DI

YR/Lgr

YR/L

3. カラーリンケージで配色する

近隣の壁や屋根等の色と同一・類似の色を取り入れることによって、環境になじませる方法をカラーリンケージといいます。この方法を使うことで、近隣の建造物等と共通の色が用いられると、景観のまとまりと連続性が出てきます。自然の樹木などと外壁・屋根色がリンケージすると自然の中に溶け込みます。



YR/L

YR/DI

R/DI

YR/Dk



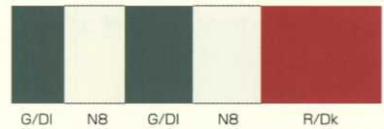
YR/Dgr

YR/Gr

YR/Gr

4. グラデーションとセパレーションを使う

おだやかにまとめる時には、暗い色・濃い色から明るい色・淡い色へと徐々にトーンを変化させるグラデーション(漸変)の方法を用います。壁面の一部にアクセント的に対比感を出したり、引きしめるためにはセパレーション(分離)の手法を使います。



5. 基調色とアクセント色のバランスをとる

アクセント色の比率は基調色、準基調色に対して9:1、8:2程度の割合で考えるとまとまりやすくなります。



6. 面積や光による色の見え方に注意する

小さな色見本より畳くらいの大きさで見た時の方が、明度・彩度ともに約0.5~1.0アップしたような見え方になります。(明るく、色みを強く感じる面積効果)また、晴天時、日陰の部分は青みが、日の当たる部分は赤みを強く感じます。



7. 仕上げによる見え方の違い

石材やコンクリートでは、表面の仕上げのちがいによって生じる陰影が明暗の違いとなって表れます。テクスチャ(見た目の手ざわり感)により表情を与えるテクニクのひとつです。



表面の凹凸により陰影が表れます。



平滑な仕上げにより、模様がはっきり表れます。

8. 時間の経過を配慮する

自然材やレンガなどの素材色は年月の経過とともに味わいや深みを増しますが、塗装色は退色してきます。素材がもつ重量感や質感にマッチした色は、経年変化(エージング)に耐えやすいといえます。

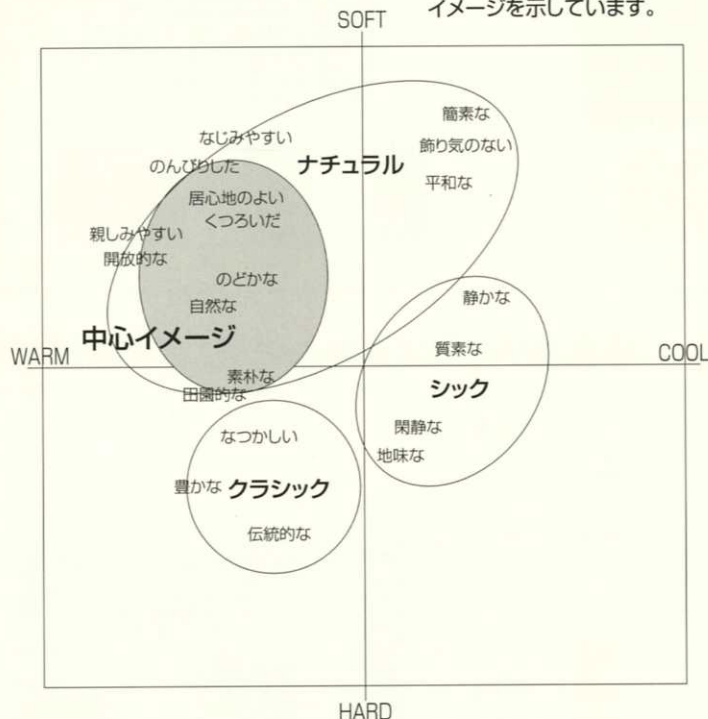


景観のイメージ調査結果

各地域の住民のみなさまを対象に、「お住まいの市町村にふさわしいと思う景観イメージ」について、平成10年12月、アンケート調査を実施しました(回答者1323名)。その結果を「データベース・イメージ調査法」により分析したうちの一部をご紹介します。

<景観イメージの方向性>

180語の言葉の中から選ばれた上位20語の位置とイメージを示しています。



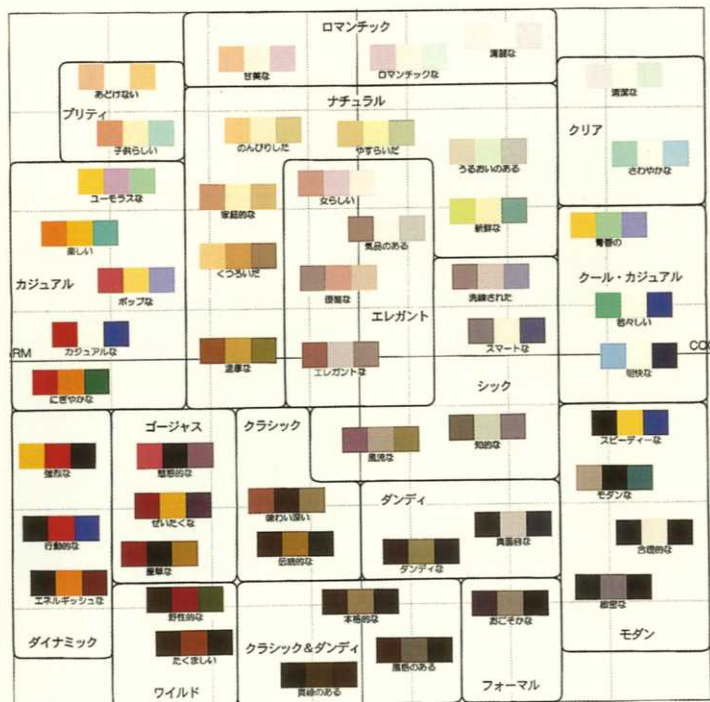
1. 青森県の景観イメージ

- ・青森県の各市町村の住民の共通イメージは、ナチュラルイメージが中心です。ナチュラルゾーンの言葉は、全体の約7割の人があげており、青森県全体のイメージを構成しています。
- ・自然な、のどかな、素朴な、田園的な、のんびりしたといった言葉が多く選ばれています。
- ・次に、静かな、閑静な、地味なといったシックイメージ、伝統的な、なつかしいといったクラシックイメージが強くなっています。
- ・各地域ともナチュラルイメージが高いため、このイメージを中心に据え、各景域の特徴を生かしていくことが大切です。

<景観イメージの配色>



<イメージスケール(配色)>



イメージスケールとは

色は固有のイメージをもっており、色に対して抱くイメージは、人によって微妙に異なりますが、共通する部分も多いものです。そのイメージの共通感覚を、心理的研究の蓄積で明らかにしたものがNCD(日本カラーデザイン研究所)のイメージスケールです。

左図は、判断基準となるWARM(あたたかい)-COOL(つめたい)、SOFT(やわらかい)-HARD(かたい)の座標軸に3色配色の基本的なイメージとその配色のテーマである言葉を位置づけたものです。一般的なイメージの全体像といえます。配色や言葉、いずれを選んでも、求めているイメージの分布パターンがわかります。

今回の調査では、居住地域のふさわしいと思われる景観イメージを、ここに位置づけられた180語の言葉を使って調査、分析しました。

2.各市町村別景観イメージの抜粋

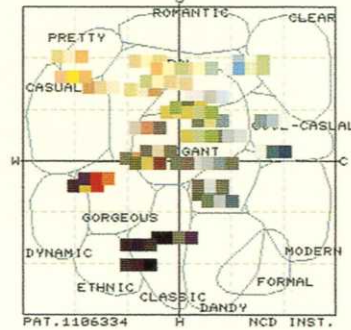
青森市

ナチュラルイメージは共通していますが、それに加えて、伝統的な、静かな、質素な、情緒的な、地味なといったイメージが強くなっています。
ナチュラルイメージは約6割の人があげており、クラシック、シックイメージが続いています。

伝統的な



静かな



イメージ語	パーセント
1 素朴な	50.0
のどかな	〃
伝統的な	〃
自然な	〃
5 静かな	45.0
6 田園的な	40.0
のんびりした	〃
8 情緒的な	35.0
質素な	〃
地味な	〃
平和な	〃
12 飾り気のない	30.0
豊かな	〃
なつかしい	〃
居心地のよい	〃
16 くつろいだ	25.0
殺情的な	〃
味わい深い	〃
質素な	〃
ひなびた	〃

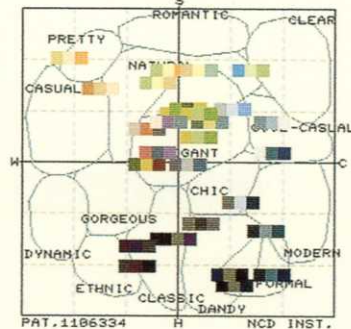
弘前市

ナチュラルイメージは共通していますが、それに加えて、伝統的な、情緒的な、文化的な、風格のある、味わい深いといったイメージが強くなっています。
ナチュラルイメージは約3割の人があげており、4地域のなかでは低い割合になっています。クラシック、シックイメージが続いています。

情緒的な



風格のある



イメージ語	パーセント
1 情緒的な	70.0
伝統的な	〃
3 文化的な	65.0
4 風格のある	60.0
5 居心地のよい	55.0
自然な	〃
7 味わい深い	50.0
古風な	〃
9 気品のある	45.0
10 のどかな	40.0
11 素朴な	35.0
校舎のある	〃
田園的な	〃
静かな	〃
15 平和な	30.0
後推な	〃
17 高尚な	25.0
親しみやすい	〃
閑静な	〃
なつかしい	〃

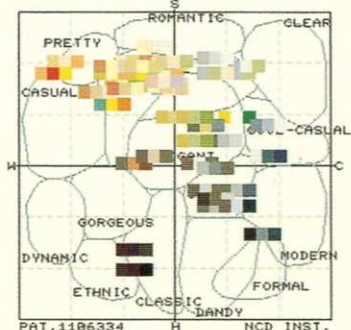
八戸市

ナチュラルイメージは共通していますが、それに加えて、親しみやすい、なつかしい、伝統的な、ひかえめな、ほらかなといったイメージが強くなっています。
ナチュラルイメージは約6割の人があげており、シック、クラシックイメージが続いています。

親しみやすい



なつかしい



イメージ語	パーセント
1 自然な	60.0
2 質素な	55.0
3 素朴な	50.0
のどかな	〃
のんびりした	〃
6 親しみやすい	40.0
なつかしい	〃
9 飾り気のない	35.0
ひかえめな	〃
11 質素な	30.0
ほらかな	〃
13 開放的な	25.0
なじみやすい	〃
おらかな	〃
気静かな	〃
閑静な	〃
地味な	〃
居心地のよい	〃
温和な	〃

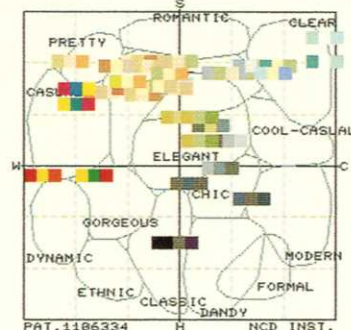
むつ市

ナチュラルイメージは共通していますが、それに加えて、親しみやすい、味わい深い、質素な、奥ゆかしいといったイメージが強くなっています。
ナチュラルイメージは約7割の人があげており、4地域の中では高い割合となっています。カジュアル、シックイメージが続いています。

味わい深い



質素な



イメージ語	パーセント
1 居心地のよい	60.0
自然な	〃
3 やすらかな	50.0
4 親しみやすい	40.0
なじみやすい	〃
飾り気のない	〃
のどかな	〃
8 くつろいだ	35.0
素朴な	〃
健康な	〃
11 味わい深い	30.0
質素な	〃
奥ゆかしい	〃
14 質素な	25.0
開放的な	〃
気のある	〃
さっぱりした	〃
温和な	〃
楽しい	〃
快適な	〃
20 洗練された	20.0